

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年11月13日
【四半期会計期間】	第48期第2四半期（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）
【会社名】	株式会社ダスキン
【英訳名】	DUSKIN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山村輝治
【本店の所在の場所】	大阪府吹田市豊津町1番33号
【電話番号】	06(6387)3411(大代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 鶴見明久
【最寄りの連絡場所】	大阪府吹田市豊津町1番33号
【電話番号】	06(6387)3411(大代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 鶴見明久
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第47期 第2四半期連結 累計期間	第48期 第2四半期連結 累計期間	第47期 第2四半期連結 会計期間	第48期 第2四半期連結 会計期間	第47期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 4月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 7月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 7月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高(百万円)	93,862	90,228	46,939	44,661	188,552
経常利益(百万円)	7,304	7,233	2,752	3,374	14,487
四半期(当期)純利益(百万円)	2,772	3,182	856	1,562	6,460
純資産額(百万円)			139,799	144,680	143,322
総資産額(百万円)			193,505	194,656	194,653
1株当たり純資産額(円)			2,061.99	2,151.59	2,130.52
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	41.23	47.61	12.73	23.38	96.18
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)					
自己資本比率(%)			71.8	73.9	73.2
営業活動によるキャッシュ・フ ロー(百万円)	5,340	7,635			13,993
投資活動によるキャッシュ・フ ロー(百万円)	3,376	3,038			7,065
財務活動によるキャッシュ・フ ロー(百万円)	3,916	2,804			5,628
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)			22,078	27,039	25,237
従業員数(人)			3,614	3,419	3,549

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載して
おりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

なお、当社の持分法適用関連会社である美仕唐納滋（上海）食品有限公司は、平成21年7月22日をもって統一多拿滋（上海）食品有限公司に社名を変更しております。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数（人）	3,419 (6,440)
---------	---------------

(注) 1．従業員数は就業人員であります。

2．従業員数欄の（ ）外書は、臨時従業員の当四半期連結会計期間の平均雇用人員であります。

(2) 提出会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数（人）	2,033 (2,370)
---------	---------------

(注) 1．従業員数は就業人員であります。

2．従業員数欄の（ ）外書は、臨時従業員の当四半期会計期間の平均雇用人員であります。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1)仕入実績

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比(%)
愛の店関連事業	6,138	12.5
フードサービス事業	7,652	4.9
ケアサービス事業	422	4.2
その他事業	2,018	21.7
合計	16,231	5.3

(注)1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 愛の店関連事業では生産を行っており、主なものは下記の通りであります。

(愛の店関連事業における生産実績)

区分	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
	回数 (ワッシャー)	前年同四半期比 (%)
マット	344,380	6.1
モップ	60,447	7.5
ロールタオル	10,565	13.1
ウエス	8,900	15.2
合計	424,292	6.7

(2)受注実績

該当事項はありません。

(3)販売実績

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
愛の店関連事業	25,324	4.4
フードサービス事業	12,358	1.8
ケアサービス事業	4,602	12.7
その他事業	2,375	8.4
合計	44,661	4.9

(注)1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の取引につきましては、相殺消去致しております。

2【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日～平成21年9月30日）における我が国の経済は、下振れリスクを抱えつつも、企業収益の減少テンポが緩やかになる等持ち直しに転じつつある状況で推移しました。一方で、失業率は過去最高水準となる等雇用情勢は一段と悪化し、所得環境も厳しさを増して、個人消費は依然として弱含みで推移しました。

しかしながら当社を取り巻く環境は、とりわけ事業所向けサービスで依然として厳しい状況が続いており、出口が見え難い状況が続きました。その中におきましても、当社は、積極的な営業を行うことに注力致しましたが、厳しい経済状況の影響を受けて、売上高は前年同期に比べ減少しました。しかしながら、コスト削減に力を注ぎ、各段階利益で前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間の業績は、連結売上高446億61百万円（前年同期比4.9%減）、連結営業利益31億2百万円（前年同期比40.1%増）、連結経常利益33億74百万円（前年同期比22.6%増）、連結四半期純利益15億62百万円（前年同期比82.6%増）となりました。

[事業の種類別セグメント毎の状況]

愛の店関連事業

当社の基幹事業であるクリーンサービス事業を中心とする訪問販売事業は、当第2四半期においても、全国加盟店の担当エリア毎に、すべての事業でお客様のご要望にお応えできるよう、地域に根ざした小商圈での営業活動に注力致しました。しかしながら、依然として厳しい市場環境が続いております。

家庭市場は、お客様数が減少したことにより、売上は前年同期を下回りました。定期顧客の獲得施策として「水周りプラスワン活動」を実施し、また、継続利用促進施策として、ミスタードーナツパスカード（一定期間ミスタードーナツで使用できる割引カード）の既存顧客への配布等に注力した結果、お客様数の減少幅は前年同期に比べ縮小しました。

事業所市場は、厨房機器・店舗設備のトラブルに対応する「緊急駆け付けサービス」を新たに導入しました。また、「リサイクルトナー」を切り口にした新規顧客の開拓、オーダーメイドマットの積極的な提案活動等の施策を実施し、新規顧客獲得件数は、前年同期を上回りましたが、工場や事務所の閉鎖等もあり、昨秋以降の売上減少の流れを止めるまでには至りませんでした。その中では、インフルエンザが流行したことにより、衛生除菌関連商品の売上は前年同期を上回りました。

ヘルス&ビューティ事業は、化粧品売上が好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、愛の店関連事業の売上高は253億24百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益は47億94百万円（前年同期比7.0%増）となりました。

フードサービス事業

ミスタードーナツ事業は、昨夏に続く「ミストの夏菓子」の発売、「ショコラフレンチ」の風味・食感を高めるブラッシュアップ、ポイントカードキャンペーンでの株式会社ユナイテッドアローズとのコラボレーション等の施策を展開し、前年同期に比べ来店お客様数は増加したものの、お買い上げ個数の減少等によりお客様一人当たりの売上が減少したことで、お客様売上が微減し、原材料売上、ロイヤルティ売上とも微減となりました。

その他のフードサービス事業は、来店お客様数の減少による既存店の低迷に加え、不採算店舗の閉鎖に伴う店舗数の減少により、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、フードサービス事業の売上高は123億58百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は8億4百万円（前年同期比425.2%増）となりました。

ケアサービス事業

ケアサービス4事業（サービスマスター、メリーメイド、ターミニックス、ツールグリーン）については、当第2四半期においてもクリーンサービス事業と同様の傾向が続いており、事業所向けサービス、ご家庭向けサービスともお客様売上は前年同期を下回りました。とりわけ、サービスマスターの事業所用メニュー全般及び家庭用メニューの「エアコンクリーニングサービス」が低迷したことでロイヤルティ売上が減少しました。また、直営店売上も減少した結果、売上高は前年同期を下回りました。

高齢者支援サービスのホームインステッド事業（公的介護保険制度ではないプライベートサービス）は、お客様売上は順調に増加しロイヤルティ売上は増加したものの、直営店が減収となり、売上高はほぼ横這いに留まりました。

病院施設のマネジメントサービスの株式会社ダスキンヘルスケアは、前期中の新規顧客獲得により、前年同期に比べるとサービス提供施設数が増加し、また提供サービス数も増え、売上高は前年同期を上回りました。

その他、株式会社ダスキンゼロケアで展開しておりました介護保険法による介護サービス事業を、平成21年4月1日に株式会社ニチイ学館へ事業譲渡した影響もあり、ケアサービス事業の売上高は46億2百万円（前年同期比12.7%減）、営業利益は56百万円（前年同期比62.4%減）となりました。

その他事業

レントオール事業は、介護関連用品のレンタルを行うヘルスレント店は順調に推移しましたが、景気低迷からくる法人顧客の経費削減やイベント数の減少でレントオール店（イベント用品や日常品等のレンタル）のお客様売上が減少した結果、事業全体では、お客様売上は微増、ロイヤルティ売上も微増となりました。しかしながら直営店は、不採算店の統廃合による店舗数の減少で売上が減少し、事業全体の売上高は前年同期を下回りました。

その他では、ユニフォームサービス事業はほぼ前年同期並み、ドリンクサービス事業、リース事業のダスキン共益株式会社は、前年同期の売上を下回りました。

以上の結果、その他事業の売上高は23億75百万円（前年同期比8.4%減）、営業損失は63百万円（前年同期の営業利益は44百万円）となりました。

なお、上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）は、当第1四半期連結会計期間末の240億76百万円から29億63百万円増加し270億39百万円となりました。各々のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、65億47百万円の資金収入（前年同期比7億89百万円増）となりました。その要因は、税金等調整前四半期純利益が29億98百万円（同13億81百万円増）、減価償却費が14億56百万円（同2億34百万円減）及び賞与引当金の増加額が17億81百万円（同1億61百万円減）であったこと等であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、33億17百万円の資金支出（同12億81百万円増）となりました。その要因は、投資有価証券の売却及び償還による収入が永久劣債の償還等により100億円（同99億99百万円増）であったことに対し、投資有価証券の取得による支出が120億67百万円（同97億57百万円増）及び有形固定資産の取得による支出が12億26百万円（同87百万円減）であったこと等であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、2億67百万円の資金支出（同1億44百万円減）となりました。その要因は、配当金の支払額が1億35百万円（同56百万円減）及び長期借入金の返済による支出が1億32百万円（同85百万円減）であったこと等であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は2億円であります。なお、当第2四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

資金の流動性について

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は270億39百万円であり、その他にも資金の範囲に含まれないが資金化が容易な定期預金及び有価証券が42億32百万円あり、運転資金としては将来の予測可能な資金需要に対して十分に確保しております。

また当社グループでは、当社がグループ内資金を集中・管理しグループ内において有効に活用することで、資金効率の向上を図っております。

資金の調達について

資金需要に対して当社は、主として自己資金（手元資金と営業活動によって獲得した資金）によって賄う予定ですが、不測の事態に備えて主要取引金融機関とコミットメントライン（特定融資枠）契約を締結しており、円滑且つ効率的な資金調達を行う方針であります。なお、金融機関からの調達に際しては、資金使途・目的に応じて金融市場環境や金利動向等を総合的に勘案し、その時点で最適と思われる調達方法を検討することとしております。

資金の使途について

資金の使途は、主として事業資金であります。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の拡充について完了したものは、次のとおりであります。

愛の店関連事業において、前四半期連結会計期間末において計画しておりました大阪中央工場の増改築工事については、平成21年9月に完了しました。これによる、同工場の生産能力に重要な影響はありません。

また、前四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設について、当第2四半期連結会計期間において重要な変更があったものは、次のとおりであります。

愛の店関連事業において、新店舗システムの構築については完了予定年月が平成21年7月でしたが、延期となり当連結会計年度中の完成を予定しております。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成21年11月13日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	67,394,823	67,394,823	東京証券取引所 大阪証券取引所 (各市場第一部)	単元株式数 100株
計	67,394,823	67,394,823		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成21年7月1日～ 平成21年9月30日		67,394,823		11,352		1,090

(5)【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
三井物産株式会社	東京都千代田区大手町1丁目2番1号	3,500	5.19
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	2,473	3.67
ダスキン働きさん持株会	大阪府吹田市豊津町1番33号	2,143	3.18
小笠原 浩方	京都府京田辺市	2,005	2.97
日本製粉株式会社	東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目27番5号	2,000	2.96
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	1,876	2.78
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区有楽町1丁目1番2号	1,500	2.22
日本水産株式会社	東京都千代田区大手町2丁目6番2号	1,125	1.66
株式会社モスフードサービス	東京都品川区大崎2丁目1番1号	1,051	1.55
ロイヤルホールディングス 株式会社	福岡県福岡市博多区那珂3丁目28番5号	1,050	1.55
計	-	18,725	27.78

(注)上記は、すべて信託業務に係る株式数であります。

(6)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 557,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 66,754,000	667,540	
単元未満株式	普通株式 83,223		
発行済株式総数	67,394,823		
総株主の議決権		667,540	

【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数(株)	他人名義 所有株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ダスキン	大阪府吹田市豊津町 1番33号	557,600		557,600	0.83
計		557,600		557,600	0.83

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年4月	平成21年5月	平成21年6月	平成21年7月	平成21年8月	平成21年9月
最高(円)	1,600	1,629	1,662	1,681	1,749	1,725
最低(円)	1,522	1,518	1,572	1,607	1,615	1,638

(注)最高・最低株価は東京証券取引所(市場第一部)におけるものであります。

3【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,780	20,841
受取手形及び売掛金	11,366	12,649
リース投資資産	1,824	1,794
有価証券	9,491	8,351
商品及び製品	6,782	5,859
仕掛品	147	158
原材料及び貯蔵品	1,861	1,755
繰延税金資産	2,593	2,232
その他	2,112	1,804
貸倒引当金	80	221
流動資産合計	57,881	55,226
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,549	37,754
減価償却累計額	20,776	20,365
建物及び構築物(純額)	17,772	17,388
機械装置及び運搬具	20,843	20,759
減価償却累計額	13,622	13,576
機械装置及び運搬具(純額)	7,220	7,182
土地	23,545	23,559
建設仮勘定	916	1,168
その他	13,067	13,610
減価償却累計額	9,602	9,666
その他(純額)	3,465	3,944
有形固定資産合計	52,920	53,244
無形固定資産		
のれん	426	577
その他	5,892	5,941
無形固定資産合計	6,319	6,519
投資その他の資産		
投資有価証券	59,172	59,348
長期貸付金	169	183
繰延税金資産	7,491	8,864
差入保証金	9,712	10,204
その他	1,203	1,137
貸倒引当金	214	74
投資その他の資産合計	77,535	79,663
固定資産合計	136,775	139,426
資産合計	194,656	194,653

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,858	7,756
1年内返済予定の長期借入金	137	175
未払法人税等	2,604	554
賞与引当金	3,732	2,986
ポイント引当金	562	565
未払金	5,452	7,956
レンタル品預り保証金	11,037	11,281
その他	3,369	4,171
流動負債合計	33,755	35,447
固定負債		
長期借入金	5,924	6,065
退職給付引当金	9,123	8,580
役員退職慰労引当金	14	59
債務保証損失引当金	180	146
長期未払金	140	142
長期預り保証金	825	844
負ののれん	-	43
その他	11	2
固定負債合計	16,220	15,884
負債合計	49,975	51,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,352	11,352
資本剰余金	13,076	13,076
利益剰余金	122,378	121,869
自己株式	846	843
株主資本合計	145,960	145,454
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,740	2,583
繰延ヘッジ損益	38	26
為替換算調整勘定	375	442
評価・換算差額等合計	2,154	3,052
少数株主持分	874	920
純資産合計	144,680	143,322
負債純資産合計	194,656	194,653

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	93,862	90,228
売上原価	52,669	49,433
売上総利益	41,192	40,795
販売費及び一般管理費	1 35,102	1 34,290
営業利益	6,090	6,505
営業外収益		
受取利息	525	362
受取配当金	175	118
設備賃貸料	559	557
受取手数料	110	124
負ののれん償却額	86	43
営業権譲渡益	5	5
雑収入	429	322
営業外収益合計	1,892	1,534
営業外費用		
支払利息	51	39
設備賃貸費用	167	166
たな卸資産評価損	24	-
たな卸資産廃棄損	5	-
持分法による投資損失	371	451
雑損失	57	148
営業外費用合計	678	806
経常利益	7,304	7,233
特別利益		
固定資産売却益	1	43
投資有価証券売却益	0	-
貸倒引当金戻入額	11	3
損害賠償金収入	-	57
その他	18	45
特別利益合計	32	149
特別損失		
固定資産売却損	11	4
固定資産廃棄損	103	356
減損損失	89	96
投資有価証券売却損	-	7
投資有価証券評価損	1,613	516
関係会社株式売却損	-	86
債務保証損失引当金繰入額	67	33
その他	43	18
特別損失合計	1,929	1,120
税金等調整前四半期純利益	5,407	6,263
法人税等	2 2,702	2 3,101
少数株主損失()	67	20
四半期純利益	2,772	3,182

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	46,939	44,661
売上原価	26,729	24,625
売上総利益	20,210	20,035
販売費及び一般管理費	17,996 ¹	16,933 ¹
営業利益	2,214	3,102
営業外収益		
受取利息	252	187
受取配当金	64	17
設備賃貸料	260	274
受取手数料	61	75
負ののれん償却額	43	-
営業権譲渡益	2	5
雑収入	224	169
営業外収益合計	908	729
営業外費用		
支払利息	25	19
設備賃貸費用	81	83
持分法による投資損失	227	221
雑損失	36	132
営業外費用合計	370	457
経常利益	2,752	3,374
特別利益		
固定資産売却益	0	43
投資有価証券売却益	0	-
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	6	2
特別利益合計	7	46
特別損失		
固定資産売却損	11	4
固定資産廃棄損	60	265
減損損失	28	80
投資有価証券売却損	-	7
投資有価証券評価損	974	16
債務保証損失引当金繰入額	38	42
その他	30	6
特別損失合計	1,143	422
税金等調整前四半期純利益	1,616	2,998
法人税等	794 ²	1,443 ²
少数株主損失()	34	8
四半期純利益	856	1,562

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,407	6,263
減価償却費	3,345	2,901
のれん償却額	52	10
貸倒引当金の増減額(は減少)	7	9
貸倒損失	1	1
受取利息及び受取配当金	701	481
支払利息	51	39
為替差損益(は益)	5	9
持分法による投資損益(は益)	371	451
有形固定資産売却損益(は益)	10	38
有形固定資産除却損	98	273
投資有価証券売却損益(は益)	0	94
投資有価証券評価損益(は益)	1,613	516
営業権譲渡損益(は益)	5	5
減損損失	89	96
売上債権の増減額(は増加)	222	1,131
たな卸資産の増減額(は増加)	533	1,027
仕入債務の増減額(は減少)	318	898
賞与引当金の増減額(は減少)	383	745
ポイント引当金の増減額(は減少)	156	3
退職給付引当金の増減額(は減少)	277	542
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4	45
債務保証損失引当金の増減額(は減少)	67	33
未払消費税等の増減額(は減少)	11	38
リース投資資産の増減額(は増加)	-	30
その他の資産の増減額(は増加)	170	29
その他の負債の増減額(は減少)	2,407	2,626
小計	8,355	7,877
利息及び配当金の受取額	725	420
利息の支払額	51	38
法人税等の支払額	3,689	623
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,340	7,635

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(は増加)	73	134
有価証券の取得による支出	995	1,000
有価証券の売却による収入	3,100	1,000
有形固定資産の取得による支出	2,568	3,225
有形固定資産の売却による収入	54	107
投資有価証券の取得による支出	2,347	12,166
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	13,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	257
貸付けによる支出	2	1
貸付金の回収による収入	21	17
敷金及び保証金の差入による支出	44	85
敷金及び保証金の回収による収入	260	479
営業権譲渡による収入	5	5
その他の支出	1,006	808
その他の収入	71	28
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,376	3,038
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	457	179
少数株主からの払込みによる収入	-	49
自己株式の取得による支出	763	2
配当金の支払額	2,687	2,668
少数株主への配当金の支払額	7	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,916	2,804
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	9
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,977	1,802
現金及び現金同等物の期首残高	23,843	25,237
株式交換による現金及び現金同等物の増加額	213	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,078	27,039

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1. 連結の範囲に関する事項の変更	(1) 連結の範囲の変更 当社の連結子会社であった統一多拿滋(上海)食品有限公司は、第1四半期連結会計期間において、当社が保有する同社の株式の一部を譲渡し、他社との共同支配企業となったため、連結の範囲から除外しております。
2. 持分法の適用に関する事項の変更	(2) 変更後の連結子会社の数 30社 (1) 持分法適用関連会社 持分法適用関連会社の変更 当社の連結子会社であった統一多拿滋(上海)食品有限公司は、第1四半期連結会計期間において、当社が保有する同社の株式の一部を譲渡し、他社との共同支配企業となったため、持分法適用の範囲に含めております。 変更後の持分法適用関連会社の数 4社

【表示方法の変更】

	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
(四半期連結貸借対照表関係)	前第2四半期連結会計期間において、「無形固定資産」として掲記されていたものは、EDINETへのXBRL導入に伴い連結財務諸表の比較可能性を向上するため、当第2四半期連結会計期間より「のれん」「その他(無形固定資産)」に区分掲記しております。なお、前第2四半期連結会計期間に含まれる「のれん」「その他(無形固定資産)」は、それぞれ813百万円、5,586百万円であります。

【簡便な会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法	当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
2. たな卸資産の評価方法	たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。
3. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
税金費用の計算	連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)																																																						
<p>1. 偶発債務</p> <p>連結会社以外の会社の金融機関からの借入金に対して債務保証を行っております。</p> <p>ミスタードーナツ加盟店 (事業者融資保証)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">(株)サン・ウッド</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">139</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">百万円</td> </tr> <tr> <td>(株)フジタコーポレーション</td> <td style="text-align: right;">126</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> <tr> <td>栗豊(株)</td> <td style="text-align: right;">83</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">58 件</td> <td style="text-align: right;">712 百万円</td> </tr> </table> <p>協力工場 (協栄工場融資保証)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">(株)山陰ダスキン工場</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">98</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">百万円</td> </tr> <tr> <td>サンドリーム(株)</td> <td style="text-align: right;">52</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> <tr> <td>日本リネンサプライ(株)</td> <td style="text-align: right;">32</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">4 件</td> <td style="text-align: right;">90 百万円</td> </tr> </table> <p>当社従業員 (厚生貸付保証)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">105</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">165 百万円</td> </tr> </table> <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <p style="text-align: right;">合計 1,500 百万円</p>	(株)サン・ウッド	139	百万円	(株)フジタコーポレーション	126	百万円	栗豊(株)	83	百万円	その他	58 件	712 百万円	(株)山陰ダスキン工場	98	百万円	サンドリーム(株)	52	百万円	日本リネンサプライ(株)	32	百万円	その他	4 件	90 百万円		105	165 百万円	<p>1. 偶発債務</p> <p>連結会社以外の会社の金融機関からの借入金に対して債務保証を行っております。</p> <p>ミスタードーナツ加盟店 (事業者融資保証)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">(株)サン・ウッド</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">162</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">百万円</td> </tr> <tr> <td>(株)フジタコーポレーション</td> <td style="text-align: right;">127</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> <tr> <td>栗豊(株)</td> <td style="text-align: right;">102</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">67 件</td> <td style="text-align: right;">982 百万円</td> </tr> </table> <p>協力工場 (協栄工場融資保証)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">(株)山陰ダスキン工場</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">104</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">百万円</td> </tr> <tr> <td>サンドリーム(株)</td> <td style="text-align: right;">72</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> <tr> <td>(株)茨城日商</td> <td style="text-align: right;">59</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">3 件</td> <td style="text-align: right;">99 百万円</td> </tr> </table> <p>当社従業員 (厚生貸付保証)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">113</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">184 百万円</td> </tr> </table> <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <p style="text-align: right;">合計 1,895 百万円</p>	(株)サン・ウッド	162	百万円	(株)フジタコーポレーション	127	百万円	栗豊(株)	102	百万円	その他	67 件	982 百万円	(株)山陰ダスキン工場	104	百万円	サンドリーム(株)	72	百万円	(株)茨城日商	59	百万円	その他	3 件	99 百万円		113	184 百万円
(株)サン・ウッド	139	百万円																																																					
(株)フジタコーポレーション	126	百万円																																																					
栗豊(株)	83	百万円																																																					
その他	58 件	712 百万円																																																					
(株)山陰ダスキン工場	98	百万円																																																					
サンドリーム(株)	52	百万円																																																					
日本リネンサプライ(株)	32	百万円																																																					
その他	4 件	90 百万円																																																					
	105	165 百万円																																																					
(株)サン・ウッド	162	百万円																																																					
(株)フジタコーポレーション	127	百万円																																																					
栗豊(株)	102	百万円																																																					
その他	67 件	982 百万円																																																					
(株)山陰ダスキン工場	104	百万円																																																					
サンドリーム(株)	72	百万円																																																					
(株)茨城日商	59	百万円																																																					
その他	3 件	99 百万円																																																					
	113	184 百万円																																																					

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)																								
<p>1. 販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は次の通りであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">減価償却費</td> <td style="text-align: right;">1,441百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">3,064百万円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">841百万円</td> </tr> <tr> <td>給与手当</td> <td style="text-align: right;">7,033百万円</td> </tr> <tr> <td>販売手数料</td> <td style="text-align: right;">3,914百万円</td> </tr> <tr> <td>のれんの償却額</td> <td style="text-align: right;">139百万円</td> </tr> </table> <p>2. 「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を一括記載しております。</p>	減価償却費	1,441百万円	賞与引当金繰入額	3,064百万円	退職給付費用	841百万円	給与手当	7,033百万円	販売手数料	3,914百万円	のれんの償却額	139百万円	<p>1. 販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は次の通りであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">減価償却費</td> <td style="text-align: right;">1,495百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与</td> <td style="text-align: right;">3,255百万円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">1,032百万円</td> </tr> <tr> <td>給与手当</td> <td style="text-align: right;">7,001百万円</td> </tr> <tr> <td>販売手数料</td> <td style="text-align: right;">3,647百万円</td> </tr> <tr> <td>のれんの償却額</td> <td style="text-align: right;">33百万円</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 40px;">当期より、「賞与」には「賞与引当金繰入額」3,027百万円を含めて記載しております。</p> <p>2. 「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を一括記載しております。</p>	減価償却費	1,495百万円	賞与	3,255百万円	退職給付費用	1,032百万円	給与手当	7,001百万円	販売手数料	3,647百万円	のれんの償却額	33百万円
減価償却費	1,441百万円																								
賞与引当金繰入額	3,064百万円																								
退職給付費用	841百万円																								
給与手当	7,033百万円																								
販売手数料	3,914百万円																								
のれんの償却額	139百万円																								
減価償却費	1,495百万円																								
賞与	3,255百万円																								
退職給付費用	1,032百万円																								
給与手当	7,001百万円																								
販売手数料	3,647百万円																								
のれんの償却額	33百万円																								

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)																								
<p>1. 販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は次の通りであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">減価償却費</td> <td style="text-align: right;">729百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">1,592百万円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">423百万円</td> </tr> <tr> <td>給与手当</td> <td style="text-align: right;">3,509百万円</td> </tr> <tr> <td>販売手数料</td> <td style="text-align: right;">1,981百万円</td> </tr> <tr> <td>のれんの償却額</td> <td style="text-align: right;">80百万円</td> </tr> </table> <p>2. 「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を一括記載しております。</p>	減価償却費	729百万円	賞与引当金繰入額	1,592百万円	退職給付費用	423百万円	給与手当	3,509百万円	販売手数料	1,981百万円	のれんの償却額	80百万円	<p>1. 販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は次の通りであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">減価償却費</td> <td style="text-align: right;">752百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与</td> <td style="text-align: right;">1,452百万円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">511百万円</td> </tr> <tr> <td>給与手当</td> <td style="text-align: right;">3,466百万円</td> </tr> <tr> <td>販売手数料</td> <td style="text-align: right;">1,835百万円</td> </tr> <tr> <td>のれんの償却額</td> <td style="text-align: right;">16百万円</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 40px;">当期より、「賞与」には「賞与引当金繰入額」1,441百万円を含めて記載しております。</p> <p>2. 「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を一括記載しております。</p>	減価償却費	752百万円	賞与	1,452百万円	退職給付費用	511百万円	給与手当	3,466百万円	販売手数料	1,835百万円	のれんの償却額	16百万円
減価償却費	729百万円																								
賞与引当金繰入額	1,592百万円																								
退職給付費用	423百万円																								
給与手当	3,509百万円																								
販売手数料	1,981百万円																								
のれんの償却額	80百万円																								
減価償却費	752百万円																								
賞与	1,452百万円																								
退職給付費用	511百万円																								
給与手当	3,466百万円																								
販売手数料	1,835百万円																								
のれんの償却額	16百万円																								

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金勘定 17,937百万円	現金及び預金勘定 21,780百万円
有価証券勘定 5,992百万円	有価証券勘定 9,491百万円
計 23,930百万円	計 31,272百万円
償還期限が3ヵ月を超える有価証券 995百万円	償還期限が3ヵ月を超える有価証券 3,492百万円
預入期間が3ヵ月を超える定期預金 856百万円	預入期間が3ヵ月を超える定期預金 739百万円
現金及び現金同等物 22,078百万円	現金及び現金同等物 27,039百万円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数
普通株式 67,394千株
2. 自己株式の種類及び株式数
普通株式 557千株
3. 新株予約権等に関する事項
該当事項はありません。
4. 配当に関する事項
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年6月24日 定時株主総会	普通株式	2,673	40	平成21年3月31日	平成21年6月25日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	愛の店関連 事業	フードサー ビス事業	ケアサービ ス事業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	26,485	12,591	5,270	2,592	46,939		46,939
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	0	10	724	739	(739)	
計	26,489	12,591	5,280	3,317	47,679	(739)	46,939
営業利益	4,480	153	149	44	4,826	(2,612)	2,214

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	愛の店関連 事業	フードサー ビス事業	ケアサービ ス事業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	25,324	12,358	4,602	2,375	44,661		44,661
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	13	670	683	(683)	
計	25,324	12,358	4,616	3,045	45,345	(683)	44,661
営業利益又は営業損失()	4,794	804	56	63	5,591	(2,489)	3,102

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	愛の店関連 事業	フードサー ビス事業	ケアサービ ス事業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	52,808	25,392	10,499	5,161	93,862		93,862
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	0	26	1,475	1,510	(1,510)	
計	52,817	25,392	10,525	6,637	95,373	(1,510)	93,862
営業利益	9,640	1,403	56	79	11,179	(5,089)	6,090

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	愛の店関連 事業	フードサー ビス事業	ケアサービ ス事業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	50,431	25,771	9,239	4,786	90,228		90,228
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	29	1,360	1,390	(1,390)	
計	50,432	25,771	9,268	6,146	91,619	(1,390)	90,228
営業利益又は営業損失()	9,901	2,000	320	100	11,481	(4,976)	6,505

(注) 1. 事業区分は、売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な内容

- (1) 愛の店関連事業.....清掃用資器材の賃貸、日用品・化粧品の販売、キャビネットタオルの賃貸、トイレタリー商品の販売、産業用ウエスの賃貸、浄水器・空気清浄機の賃貸等
- (2) フードサービス事業.....ドーナツ・ベニエ・オープン商品・飲茶並びに料理飲食物の販売、ピザの宅配サービス等
- (3) ケアサービス事業.....ハウスクリーニングサービス、家事代行サービス、害虫駆除・予防サービス、樹木・芝生管理サービス、工場・事務所施設管理サービス、高齢者生活支援サービス、病院のマネジメントサービス等
- (4) その他事業.....旅行用品・ベビー用品・レジャー用品・健康及び介護用品等の賃貸並びに販売、ユニフォームの賃貸、オフィスコーヒー等の販売、事務用機器及び車輛のリース、保険代理業等

なお、ケアサービス事業の介護保険法による介護サービスにつきましては連結子会社株式会社ダスキンゼロケアの介護事業を平成21年4月1日付で株式会社ニチイ学館へ譲渡し、撤退しました。

3. 会計処理の方法の変更

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）

（有形固定資産の耐用年数変更）

当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、有形固定資産の一部について第1四半期連結会計期間より耐用年数の変更を行っております。これにより、従来の耐用年数によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益が、愛の店関連事業で96百万円、フードサービス事業で6百万円それぞれ増加しております。

（棚卸資産の評価に関する会計基準）

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号平成18年7月5日）を摘要しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益が、愛の店関連事業で44百万円、フードサービス事業で129百万円、その他事業で2百万円それぞれ減少しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）並びに前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）並びに前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 2,151.59円	1株当たり純資産額 2,130.52円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 41.23円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 47.61円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
四半期純利益(百万円)	2,772	3,182
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	2,772	3,182
期中平均株式数(千株)	67,251	66,837

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 12.73円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 23.38円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
四半期純利益(百万円)	856	1,562
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	856	1,562
期中平均株式数(千株)	67,252	66,837

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月14日

株式会社ダスキン
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 寺澤 豊

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 西原 健二

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊藤 嘉章

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ダスキンの平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ダスキン及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月13日

株式会社ダスキン
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	寺澤 豊
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	西原 健二
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	伊藤 嘉章

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ダスキンの平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ダスキン及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。